

太陽がある限り、電気は止まらない。

完全自立型スマート防災コンテナ（太陽光3.0kWモデル）

株式会社 MIRATEX／担当：西郷

2. アジェンダ

本日の流れ

- 1. 現状課題と背景
- 2. ソリューション概要
- 3. 主な仕様・特徴
- 4. 利用シーン
- 5. 導入メリット
- 6. カスタマイズ例
- 7. 想定ターゲット
- 8. よくある質問・反論への回答
- 9. お問い合わせ・行動喚起

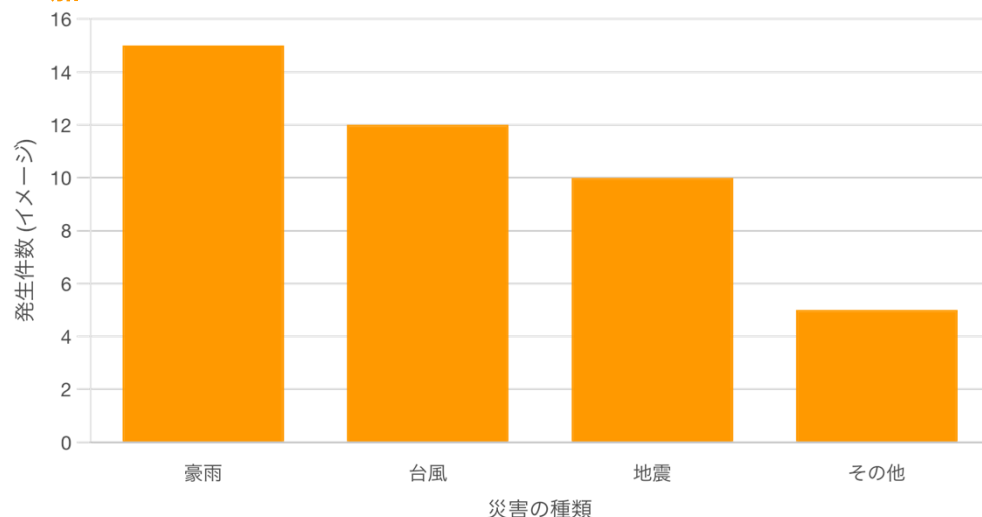


3. 現状課題と背景

近年の自然災害頻発により、停電・断水時の業務継続リスクが高まり、従来の防災設備では対応に限界がある

近年の日本における自然災害の発生状況 1

▲ 災害リスクが年々増加



日本は世界有数の自然災害多発国であり、地震・台風・豪雨などによる被害が毎年発生しています。特に2011年の東日本大震災以降、災害リスクへの備えが社会的に強く求められています。

停電・断水時の業務停止リスクと損失事例 2

- 停電時、自治体や企業の業務が長時間停止し、地域住民や従業員の安全確保が困難に
- BCP（事業継続計画）未整備の企業では、災害時の損失額が数千万円規模に及ぶケースも
- 2018年北海道胆振東部地震では、全道停電により多くの工場・病院・農業施設が操業停止
- 通信・空調・電力の確保ができず、復旧までに数日～数週間を要した事例が多数

既存設備の課題 3

- 非常用発電機や備蓄電源は容量・稼働時間に限界がある
- 通信・空調設備の冗長性が不足し、災害時に機能停止のリスク
- 商用電源依存のため、長期停電時の対応が困難
- 断熱・快適性が不十分で、避難・業務継続に支障

4. ソリューション概要

完全自立型スマート防災コンテナの全体像

コンセプト図：自立型スマート防災コンテナの全体像

太陽光パネル 3.0kW

蓄電池ユニット

20ftコンテナ本体

エアコン室外機

LED照明・換気ファン

停電・断水時も電力・通信・快適空間を確保できる完全自立型システム



キーワードで伝える価値

完全自立型

多用途

安心空間

5. 主な仕様・特徴

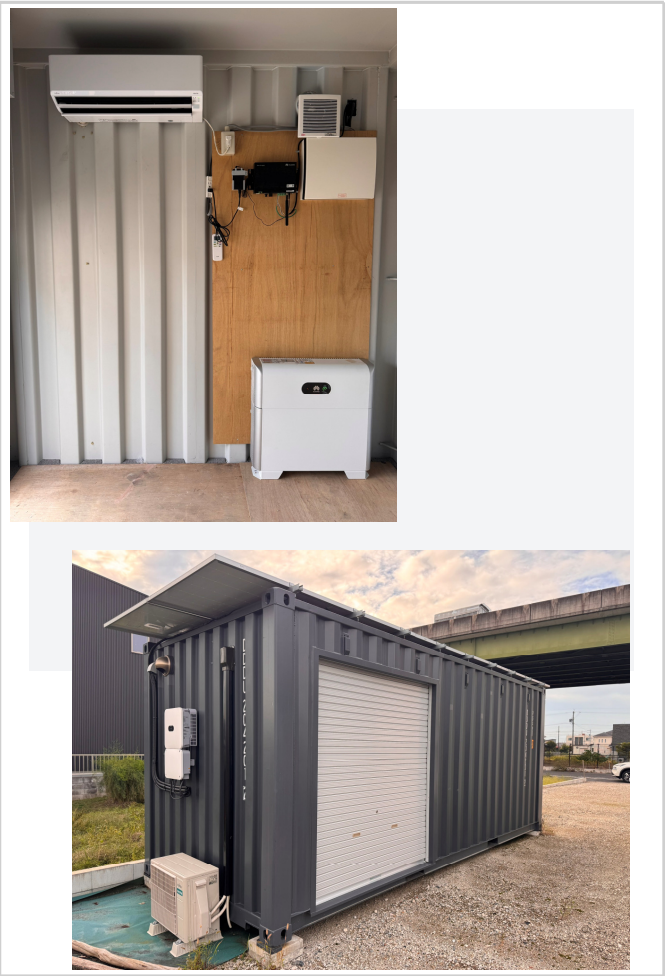
主要仕様一覧	
項目	内容
コンテナサイズ	20ft（約6.0m × 2.4m × 2.6m）
太陽光パネル	500W × 6枚（合計3.0kW）
蓄電システム	3.0kWクラス蓄電池＋インバータ
空調設備	家庭用エアコン（6～8畳対応）
電源方式	完全自立型（商用電源不要）
照明・換気	LED照明＋換気ファン完
構造	厚鋼製コンテナ／断熱仕様可

主要機能アイコン化

太陽光パネル	太陽光パネル
蓄電池	蓄電池
エアコン	エアコン
LED照明	LED照明
換気ファン	換気ファン
断熱構造	断熱構造

信頼性・先進性のポイント

- ✓ 完全自立型で商用電源不要、災害時も稼働
- ✓ 厚鋼製＋断熱仕様で耐久性・快適性を両立
- ✓ 主要設備は全て標準搭載、現場即戦力



情報出典：ユーザー提供資料（2025年11月時点）

6. 利用シーン

多様な現場で活躍する自立型スマート防災コンテナ

災害時の非常用電源拠点／BCP倉庫

- ・ 地震・台風・豪雨などの自然災害時、停電下でも電力・空調・通信を確保
- ・ 自治体や企業のBCP（事業継続計画）拠点として活用

災害発生時のライフライン寸断リスクに対し、電力・空調・通信を自立確保できる拠点として活用。BCP対策の強化に直結。

農業ハブ・作業休憩所・保管庫・冷却スペース

- ・ 農業現場の作業拠点や休憩所、収穫物の一時保管・冷却に最適
- ・ 電源・空調・照明を自立供給

農業法人や生産現場で、作業効率化・品質管理・従業員の快適性向上に寄与。

工場・現場の仮設オフィス／遠隔監視ステーション

- ・ 建設現場や工場の仮設オフィス・監視拠点として利用
- ・ 遠隔地でも安定した電源・空調・通信を確保

建設・インフラ現場での仮設事務所や監視ステーションとして、BCPと現場管理の両立を実現。

通信BOX・防犯カメラ・AI監視システムの電源確保

- ・ 遠隔監視やセキュリティ強化のための安定電源供給
- ・ 通信障害時も自立運用可能

防犯・監視・通信インフラの電源として、停電時も安定稼働。AI監視やIoT機器の導入現場で実績多数。

防災備蓄＋休憩所複合モデル

- ・ 防災備蓄品の保管と、災害時の一時避難・休憩スペースを両立
- ・ 地域住民や従業員の安心感向上

防災備蓄と快適空間を一体化し、平時・災害時ともに活用可能。地域防災力の底上げに貢献。

7. 導入メリット

多面的な導入メリット一覧




観点	メリット	説明
エネルギー	商用電源不要・光熱費ゼロ	太陽光3.0kW＋蓄電池で災害時も安定稼働。電気料金ゼロでランニングコストを大幅削減。
環境	CO ₂ 削減・再エネ推進	再生可能エネルギー活用でCO ₂ 排出を抑制。地域の環境貢献PRにも有効。
BCP	事業継続性を可視化	停電・断水時も業務継続が可能。BCP（事業継続計画）対策として自治体・企業の信頼性向上。
安心心理	従業員・地域の安心感向上	災害時の避難・休憩・電源確保で心理的安全性を高める。防災意識の醸成にも寄与。
補助金	助成対象可能	スマート農業・防災拠点等の各種補助金・助成金の活用が可能。コスト負担を軽減。

導入メリットのポイント解説

- 1. 商用電源不要で光熱費ゼロ。災害時も稼働し続ける安心感。
- 2. CO₂削減・再エネ推進で地域貢献と企業価値向上。
- 3. BCP対策として事業継続性を「見える化」し、信頼性アップ。
- 4. 従業員・地域住民の防災意識と安心感を高める。
- 5. 補助金・助成金の活用で初期コストも抑制可能。

8. カスタマイズ例

通信機器・セキュリティ機器搭載例

-  通信機器（Wi-Fiルーター）搭載で現場のネットワーク環境を確保
-  防犯AIカメラ設置で遠隔監視・セキュリティ強化
-  リモート監視機能により災害時も状況把握が可能




通信機器やAIカメラの搭載により、BCPや防犯・監視用途に柔軟対応。現場の状況を遠隔から把握できるため、災害時の安全確保や業務継続性向上に寄与します。

カスタマイズのポイント

現場ごとに最適な仕様へ **柔軟対応**。**通信・防犯・作業効率・快適性**など、用途や課題に合わせて多様なカスタマイズが可能です。

カスタマイズ性の高さが、さまざまな業種・用途での導入を後押ししています。

設備・内装カスタマイズ例

-  棚・工具掛け・冷蔵ユニットなど設置可能
-  内装：木目調・防音断熱仕上げオプション
-  厚鋼製コンテナで断熱・耐久性も確保

現場用途に応じて内装・設備を柔軟にカスタマイズ可能。作業効率や快適性、防災性能を高める工夫が施せます。

現場最適化の実例イメージ

例：**農業ハブ**では冷蔵ユニット＋Wi-Fi、**BCP拠点**ではAIカメラ＋断熱内装など、導入現場ごとに最適な組み合わせを提案。

用途ごとのカスタマイズ実例を簡潔に紹介し、導入イメージを具体化します。

9. 想定ターゲットと導入事例イメージ



自治体・防災担当部門

- 地域防災力の強化：災害時の非常用電源拠点として活用
- 住民の安心感向上：停電時も避難所や公共施設の機能維持

自治体では、地域防災計画の一環として自立型防災コンテナの導入が進んでいます。災害時の電源確保や避難所機能の維持に寄与し、住民の安心感向上に貢献しています。



農業法人・建設会社・発電事業者

- BCP・スマート農業拠点化：停電時も作業継続・生産性維持
- 現場管理効率化：遠隔監視や作業休憩所として多用途利用

農業法人や建設会社では、BCP（事業継続計画）対策やスマート農業の拠点として導入が進行。停電時の作業継続や現場管理の効率化に役立っています。



警備・防犯会社、通信事業者

- 遠隔監視・電源確保：AIカメラや通信BOXの安定稼働
- セキュリティ強化：災害時も監視・通信機能を維持

警備・防犯会社や通信事業者では、遠隔監視や通信インフラの安定運用のため、災害時も稼働可能な電源確保が重要視されています。

導入イメージまとめ

各ターゲットごとに、災害時の事業継続・安心感向上・現場効率化など多様な効果が期待されます。自立型スマート防災コンテナは、自治体・企業・現場の安心と信頼性を高める新たなインフラです。

10. よくある質問・反論への回答

よくある質問・反論と回答

Q. コストが高い？

A. **災害時の損失防止・補助金活用・平時の効率化** でトータルコスト削減が可能です。例えば、災害時の業務停止による損失は **1日あたり数百万円規模** に及ぶケースもあり、防災投資は長期的な経済合理性があります。

Q. 運用が難しそう？

A. **遠隔監視・サポート体制・マニュアル完備** で、専門知識がなくても安心して運用できます。

Q. 既存設備で十分？

A. 大規模災害時には既存設備だけでは **冗長性・柔軟性が不足** し、電力・通信・空調の確保が困難になるリスクがあります。自立型コンテナはこれらの課題を補完します。

Q. 他社と比較したい

A. **実績・サポート体制・補助金適用範囲** などでもご説明可能です。お気軽にご相談ください。

補足説明・参考情報

災害時損失の実例

台湾の災害対策事例では、企業の事業継続における防災投資の重要性が示されています。適切な備えにより、災害時の損失を大幅に軽減できることが実証されています。

運用サポート体制

24時間遠隔監視システム、定期メンテナンス、緊急時対応など、包括的なサポート体制を整備しています。

経済合理性

初期投資に対し、災害時損失防止効果、補助金活用、平時の光熱費削減により、中長期的なROIを実現します。

参考資料：[\[1\]jp.wsj.com](http://11jp.wsj.com)

11. お問い合わせ・行動喚起

お問い合わせ先


株式会社 MIRATEX


担当：西郷

販売・施工・企画の専門担当者がお客様のご要望にお応えします

用途例

 BCP倉庫

 スマート農業拠点

 災害対応BOX

info@miratex.jp

メールアドレス

お気軽にお問い合わせください迅速にご対応いたします

専門スタッフが
丁寧にご提案いたし
ます